

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

那覇港トランシップ港湾の実現に向けた国際海上コンテナターミナルの整備促進 ～ 平成16年度完成予定 ～

1. 事業概要

那覇港の岸壁(-13.0m)は、物流機能の効率化を図るため、港湾施設の長期貸付等特区制度の活用により民間のターミナルオペレーター企業を誘致し、トランシップ港湾の実現に向けて国際競争力の向上を図るために根幹となる施設です。また、大規模な地震が発生した場合の緊急物資、避難者の海上輸送に対応するための施設としても早急な整備が望まれています。これまで岸壁本体、背後埋立、前面泊地浚渫を行ってきました。

完成・新規・継続の区分
完成

事業区分(直轄・補助)
直轄

事業着手年度
平成9年度

完成予定年度
平成16年度

平成16年度事業費
400百万円



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度は、岸壁のエプロン舗装および背後の埋立を行い、完成する予定です。当岸壁は、現在、供用中のコンテナターミナルにおける2バース目であり、1バース目と併せて、現在ターミナルオペレーターの国際公募を実施中です。

これらの取り組みにより、トランシップ港湾の実現を推進し、自立的経済の発展に大きな寄与が期待されます。

○【自立型経済の構築と持続的发展を支える基盤づくり】

一般国道329号「石川バイパス」事業の整備促進 ～ 平成16年度全線4車線化 ～

1. 事業概要

石川市の中心市街地を通る現国道区間は、通過交通と域内交通が混在し交通渋滞を引き起こしていました。本道路は、このような交通渋滞を緩和するとともに、将来交通量に見合う道路網整備計画の一環として整備を進めてきました。

平成15年3月に全線2車線の暫定供用を行い、現道交通の交通渋滞緩和に寄与しておりますが、引き続き交通の円滑化に向け完成4車線の整備を進めていきます。

完成・新規・継続の区分
完成

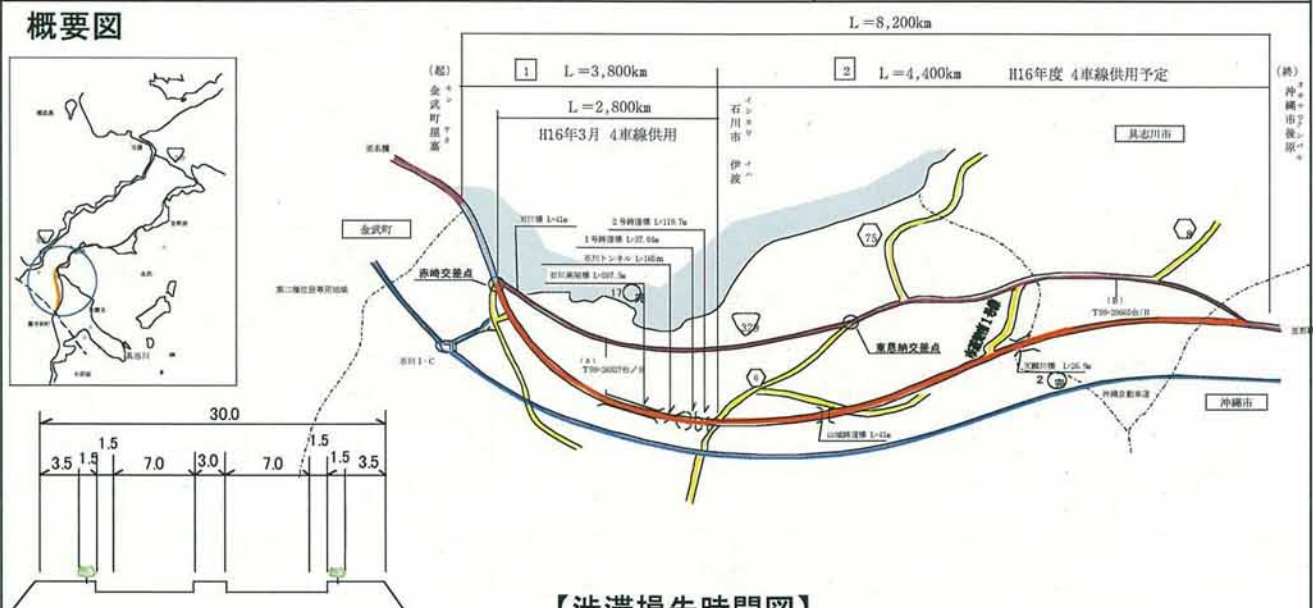
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
昭和63年度

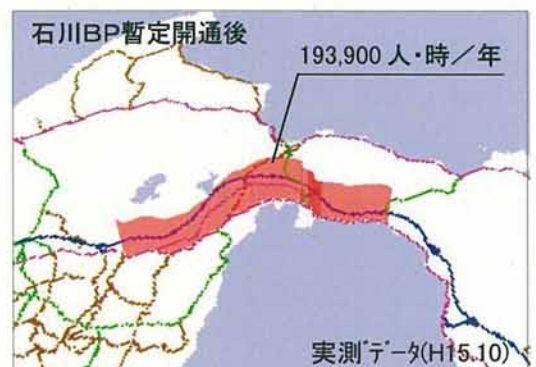
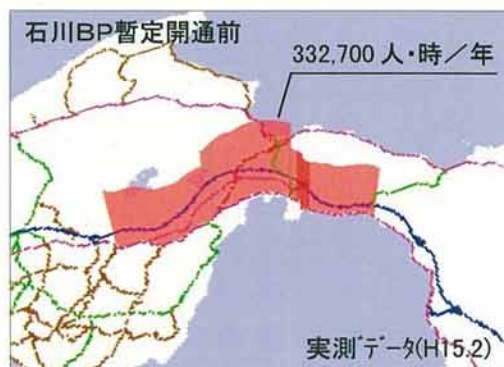
全線4車線化予定年度
平成16年度

平成16年度事業費
400百万円

概要図



【渋滞損失時間図】



2. 平成16年度の整備内容

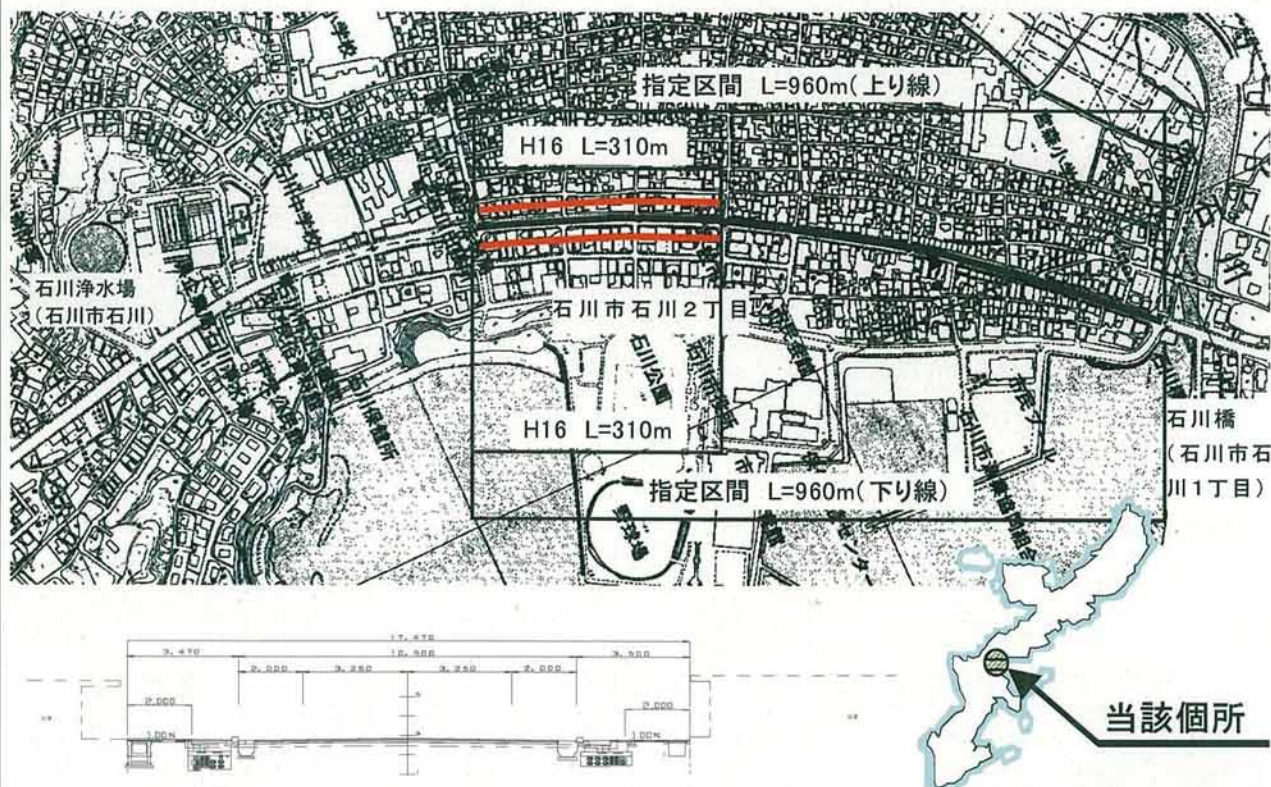
全線4車線化に向け、舗装工事、植栽工事、安全施設の工事を促進します。

- 【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】
- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

一般国道329号「石川地区電線共同溝」事業の整備促進
～ 平成16年度新規事業 ～

1. 事業概要 当該事業は、沖縄ブロック無電柱化推進計画に基づき、一般国道329号・石川市石川地内（道路延長L＝0.96km）において、道路の地下空間に電線共同溝を整備し電線類の地中化を図るものです。 これまで、電線管理者等との調整を進め、平成16年度から新規に着手します。	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成16年度
	完成予定年度 平成19年度
	平成16年度事業費 380百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度は、指定区間内L＝0.31kmの上下線の整備を行う予定です。

電線共同溝の整備により電線類を地中化を図ることによって、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観及び都市防災性の向上、道路の掘返し防止による交通渋滞の緩和、高度情報通信社会の早期実現に役立ちます。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

首里城地区（書院・鎖之間）整備

～平成16年度 新規事業～

1. 事業概要

首里城公園全体は、歴史・文化の拠点として魅力度の高い施設整備や文化遺産の鑑賞、見学、体験という観光形態の充実等を基本方針として進めています。

書院は、王府時代に国王が日常政務を行っていたところです。また、鎖之間は王子が賓客の接待に使っていたところであり、往時の状況を再現する場として新規に書院・鎖之間の整備を進めていきます。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成16年度

完成予定年度

平成17年度

平成16年度事業費

300百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

当公園においては、首里城跡地の保存と活用を目的とし、平成16年度は、書院・鎖之間の復元整備として、材料加工、仮設工、本体施工に着手し、琉球の歴史文化を体感できる施設整備を進めて、早期開園を目指していきます。

- 【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】
- 【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

1. 事業概要

概要図

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

街路事業 国際センター線の整備着手
～ 平成16年度新規路線 ～

1. 事業概要

国際センター線は、浦添市役所前の主要地方道浦添西原線から浦添南第一土地区画整理地区を通り、県道宜野湾南風原線へ至る浦添市と那覇市を結ぶ道路です。

本路線を整備することで、県道１５３号線を補完し交通混雑の緩和が図れます。また、現在区画整理事業が整備中であることから、連携した早急な整備が必要です。

完成・新規・継続の区分
新規

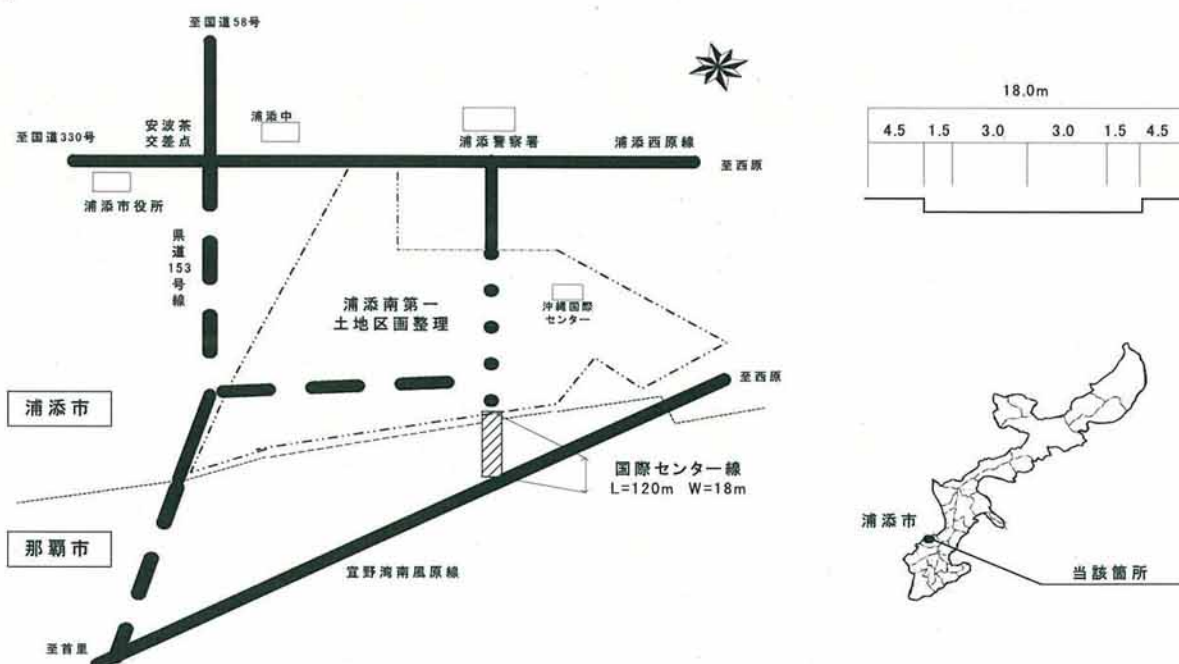
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成16年度

完成予定年度
平成20年度

平成16年度事業費
20百万

概要図



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度において、実施設計を行うものです。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

都市公園事業 豊崎総合公園の整備着手
～ 平成16年度新規着手 ～

1. 事業概要

豊崎総合公園は、豊見城地先公有水面160.0haを埋め立て、住宅地商業地等、また、公共施設を計画的に配置し新しい街づくりを目指した豊見城地先開発事業区域内に位置しており、都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とした総合公園として平成16年度より整備に着手するものです。

完成・新規・継続の区分
新規

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成16年度

完成予定年度
平成20年度

平成16年度事業費
322百万

概要図



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度においては、公園実施設計及び用地取得を行うものです。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり】

一般国道506号「豊見城東道路」の整備促進 ～豊見城トンネル工事に着手予定～

1. 事業概要

豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一翼を担うもので、本島北部、中南部及び那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑緩和に役立つことが期待されています。

平成15年4月26日に南風原南IC～豊見城IC間の部分暫定供用を行い、引き続き、那覇空港南IC（仮称）までの早期暫定供用をめざし事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分
継続

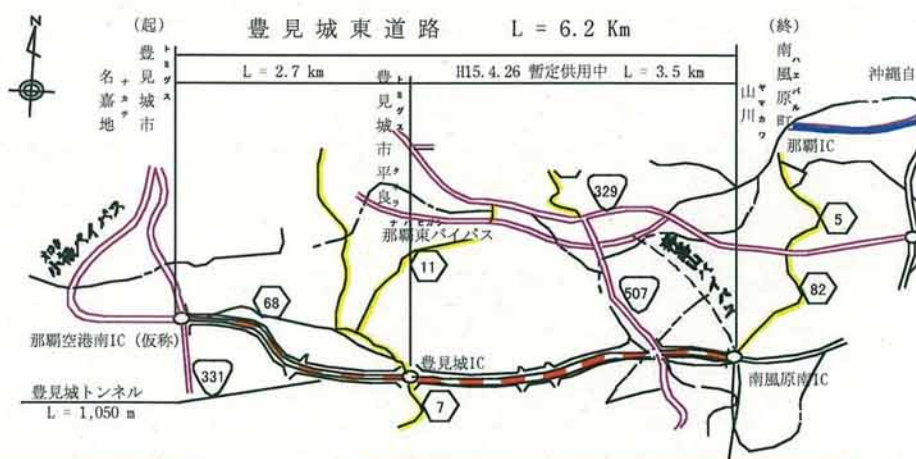
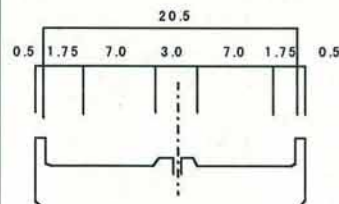
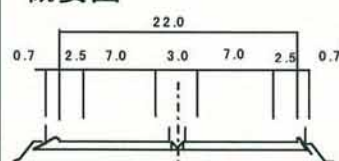
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成5年度

完成予定年度
平成19年度（暫定）

平成16年度事業費
3,240百万円

概要図



豊見城IC側



南風原南IC側

2. 平成16年度の整備内容

早期暫定供用に向け、高架橋上下部工事等の促進及び用地買収の促進を図ります。

○【自立経済の構築と持続的発展を支える基礎づくり】

那覇港那覇ふ頭地区臨港道路（空港線）の整備促進
～より効率的な物流体系の形成を目指して～

1. 事業概要 那覇港臨港道路空港線は那覇港と那覇空港及び本島南部を海底トンネルにより連絡するものであり、那覇港における効率的な物流体系の形成に加え、国道58号線の交通負荷の軽減に資するものとして、早期供用が期待されています。これまでに沈埋トンネルの本体である沈埋函は全体で8函のうち4函を製作し、3函を据え付けてきました。	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 直轄
	事業着手年度 平成4年度
	完成予定年度 平成20年度
	平成16年度予算 10,300(9,785)百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

平成15年度に引き続き5号函の製作工事、空港側立坑の築造工事を行い、4・5号函の据付工事を行う予定です。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道58号「那覇西道路」の整備促進 ～那覇市内の渋滞緩和を目指して～

1. 事業概要

那覇西道路は沖縄西海岸道路（延長約50km）の一部を構成する道路で、那覇市若狭から同市鏡水に至る延長L=3.0kmの道路であります。本路線は、那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上を目的とした路線であり、また、観光、地域の活性化、地域振興プロジェクトの支援に資する道路として期待されています。

平成20年代前半の暫定供用を目指し事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分
継続

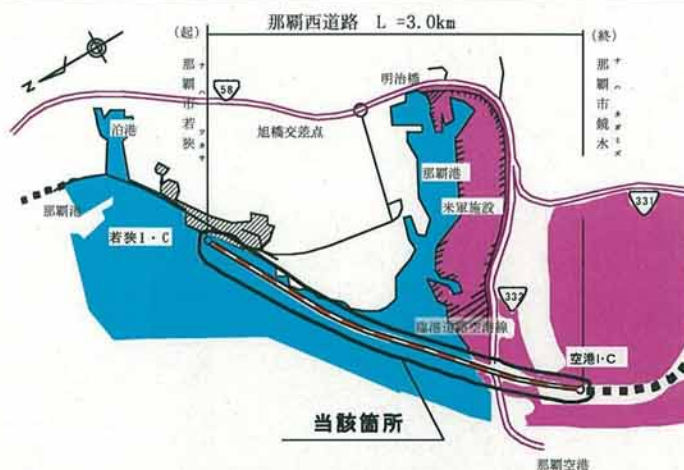
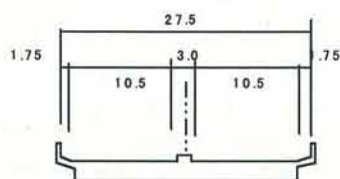
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成4年度

完成予定年度
平成20年度（暫定）

平成16年度予算
9,060百万円

概要図



若狭IC側（イメージ図）



沈埋トンネル三重城坑口付近より北側を望む（イメージ図）

2. 平成16年度の整備内容

早期暫定供用に向け、高架橋上下部工事等の促進及び用地買収の促進を図ります。

○【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり】

一般国道507号 津嘉山バイパスの整備促進

1. 事業概要

一般国道５０７号は、沖縄本島南部地域の中央部を縦貫し、那覇空港自動車道や国道３２９号那覇東バイパスに連結する幹線道路であります。

当該道路の現道は、慢性的な交通渋滞が発生していることから、バイパスの整備により、交通渋滞の緩和を図るとともに、那覇空港・那覇港へのアクセス性の向上を図るものです。

$L=5.1 \text{ km}$ 、 $W=30 \text{ m}$ (4車線)

完成・新規・継続の区分

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度

平成2年度

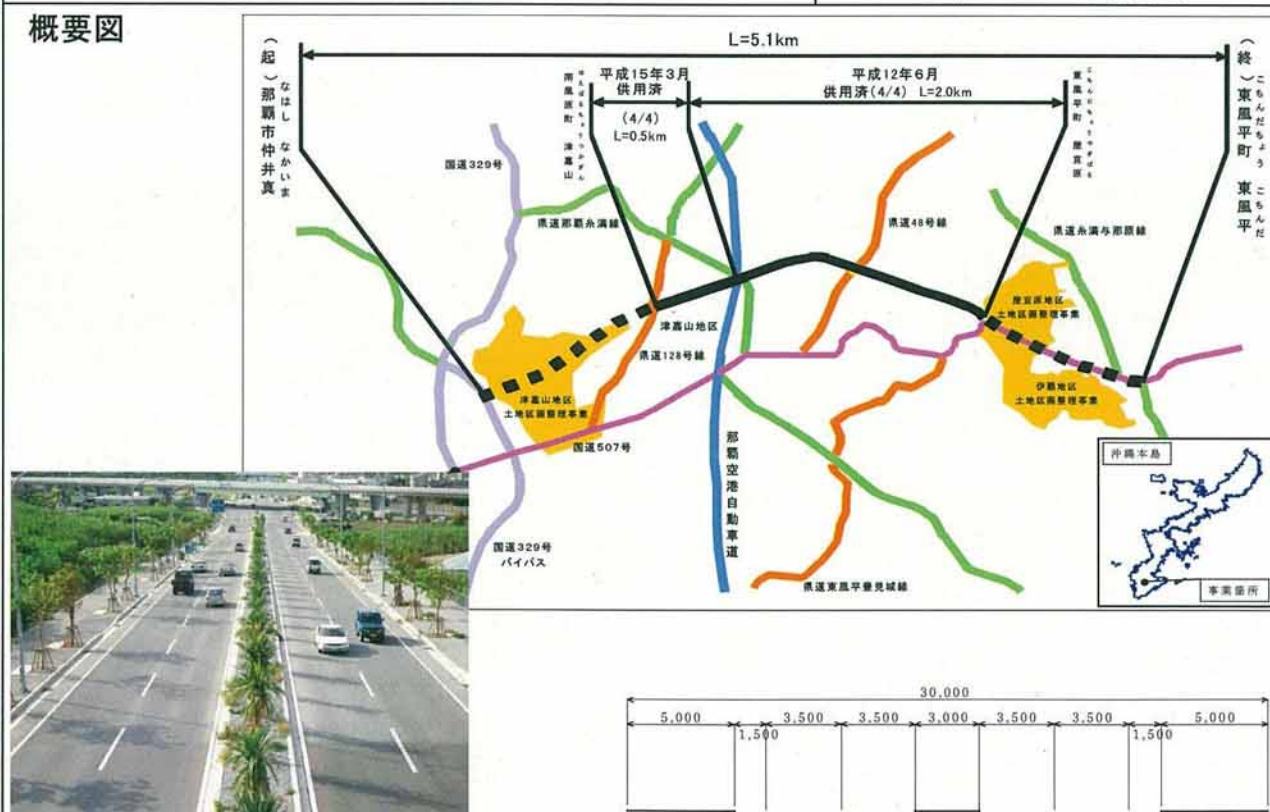
完成予定年度

平成19年度

平成16年度事業費

3, 400百万円

概要図

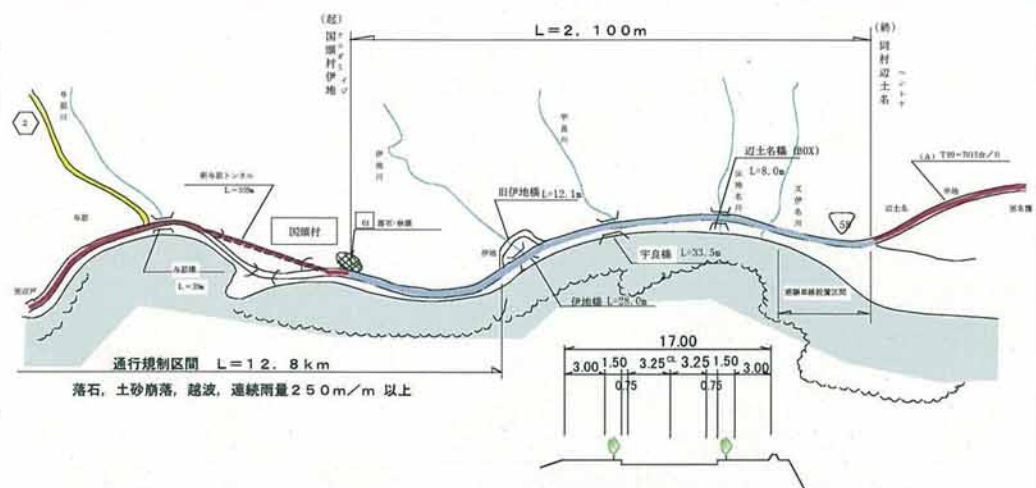


2. 平成16年度の整備内容

平成16年度は、津嘉山地区・東風平地区の用地買収及び道路改良工事を促進するとともに、南風原町及び東風平町の土地区画整理事業への公共施設管理者負担金の対応を図る予定です。

一般国道５８号「宇良拡幅」事業の整備促進
～ 平成１６年度完成 ～

平成16年度予算
60百万円



旧道部分の老朽橋の架け替え工事を促進します。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】

羽地大川羽地ダム建設事業の整備促進

～ 平成16年度完成予定 ～

1. 事業概要

羽地ダムは、羽地大川水系羽地大川に羽地ダムを建設し、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、かんがい用水及び水道用水の供給を目的としています。

羽地ダムは、平成7年度に本体工事に着手し、平成12年3月に堤体盛立を完了しました。平成13年7月より試験湛水を開始し、平成16年度完成を予定しています。

完成・新規・継続の区分
完成

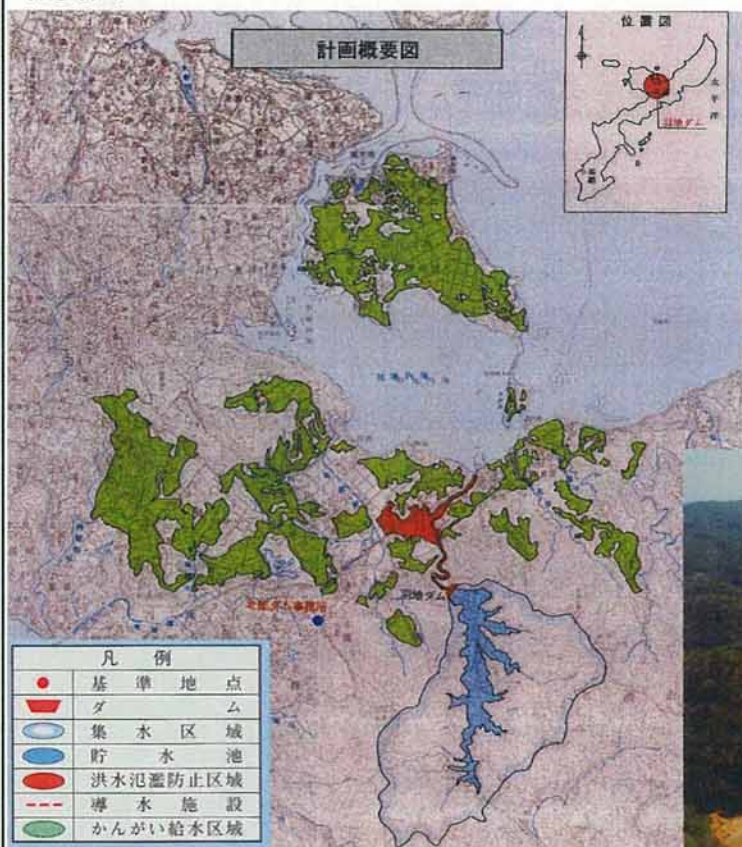
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
昭和56年度（建設事業）

完成予定年度
平成16年度（羽地ダム）

平成16年度事業費
1,146百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

試験湛水を継続し、周辺環境整備及び付替林道等の関連工事を引続き実施します。
羽地ダム完成により、1日最大12,000m³の水道用水を供給することができます。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】

一般国道58号「座津武防災」事業に着手
～ 平成16年度 新規事業 ～

1. 事業概要

一般国道58号の国頭村にある「座津武トンネル」は、坑口部に急峻な岩盤斜面を有しており、以前からその危険性が指摘され、これまで種々ののり面対策工を実施してきました。しかし小規模ですが落石が恒常的に発生しており、将来的に大規模な岩盤崩落の誘因となりトンネル本体に致命的な損傷与えることが懸念される状態です。このため、危険箇所を回避する別線トンネルを整備し、抜本的な安全対策を実施するものです。

完成・新規・継続の区分
新規

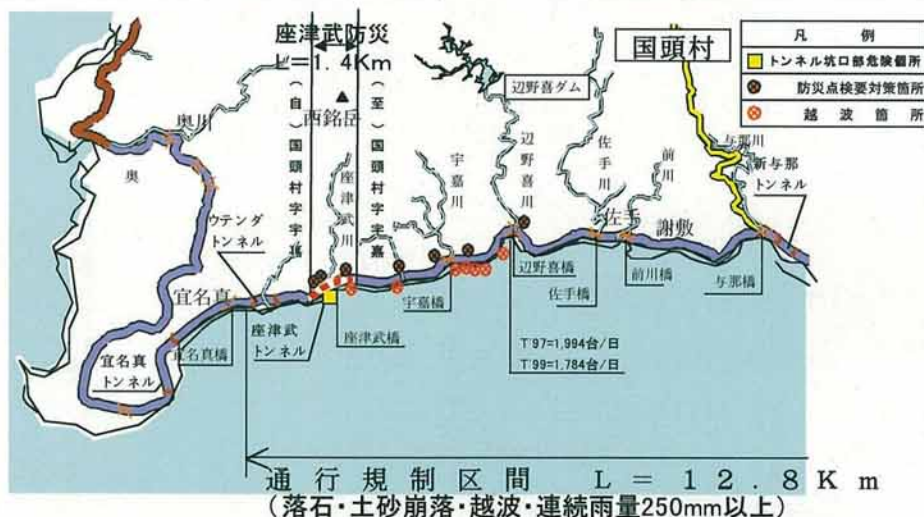
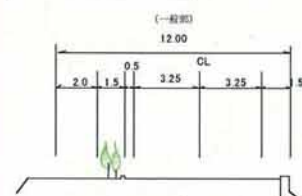
事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成16年度予定

完成予定年度
平成21年度

平成16年度事業費
80百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

環境調査、法面防災設計、道路詳細設計、地質調査等を行います。

- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

我喜屋生活貯水池の整備促進
～ 平成16年度完成 ～

1. 事業概要

伊平屋村の中の川水系シチフ川で進められている我喜屋生活貯水池は、①洪水調節、②既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、③水道用水の供給を目的としています。

我喜屋生活貯水池は平成15年7月に堤体を完成し、11月から試験湛水を開始し、平成16年度完成を予定しています。

我喜屋生活貯水池が完成すると、下流域の治水安全度は1/30まで向上し、また、新たに水道用水として最大、日量70m³/日を伊平屋村に供給することができます。

完成・新規・継続の区分
完成

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成3年度（建設事業）

完成予定年度
平成16年度

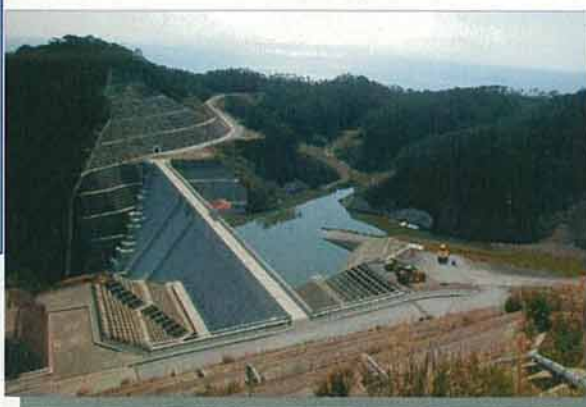
平成16年度予算
299.97百万円

概要図



我喜屋生活貯水池(H16. 2月)

位置図



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度は我喜屋生活貯水池の完成を目指し、試験湛水を完了させ、ダム周辺環境整備を実施します。

- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

儀間川総合開発事業〔儀間ダム・タイ原ダム〕
～ 平成16年度 新規建設事業 ～

1. 事業概要

儀間川総合開発事業は、久米島町の儀間川及び謝名堂川にそれぞれ儀間ダムとタイ原ダムを建設し、①洪水調節、②既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、③水道用水の供給（儀間ダムのみ）を目的としています。

儀間ダム及びタイ原ダムが完成すると、下流域の治水安全度は1/30まで向上し、また、新たに水道用水として儀間ダムから日量300m³/日を久米島町に供給することができます。

完成・新規・継続の区分
新規

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成16年度（建設事業）

完成予定年度
平成23年度

平成16年度予算
220百万円

概要図



位置図



久米島町

2. 平成16年度の整備内容

平成16年度はダム建設に必要な諸調査や用地取得を行います。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】

沖縄北西部河川総合開発事業（大保ダム）の整備促進

～ 沖縄本島の安定的な水道用水の早期確保を目指して ～

1. 事業概要

大保ダムは、大保川水系大保川に大保ダムを建設し、沖縄県企業局による西系列水道水源開発事業における8河川取水等を大保ダムに導水するもので、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、水道用水の供給を目的としています。

大保ダムでは、平成14年度に本体建設工事に着手しました。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
直轄

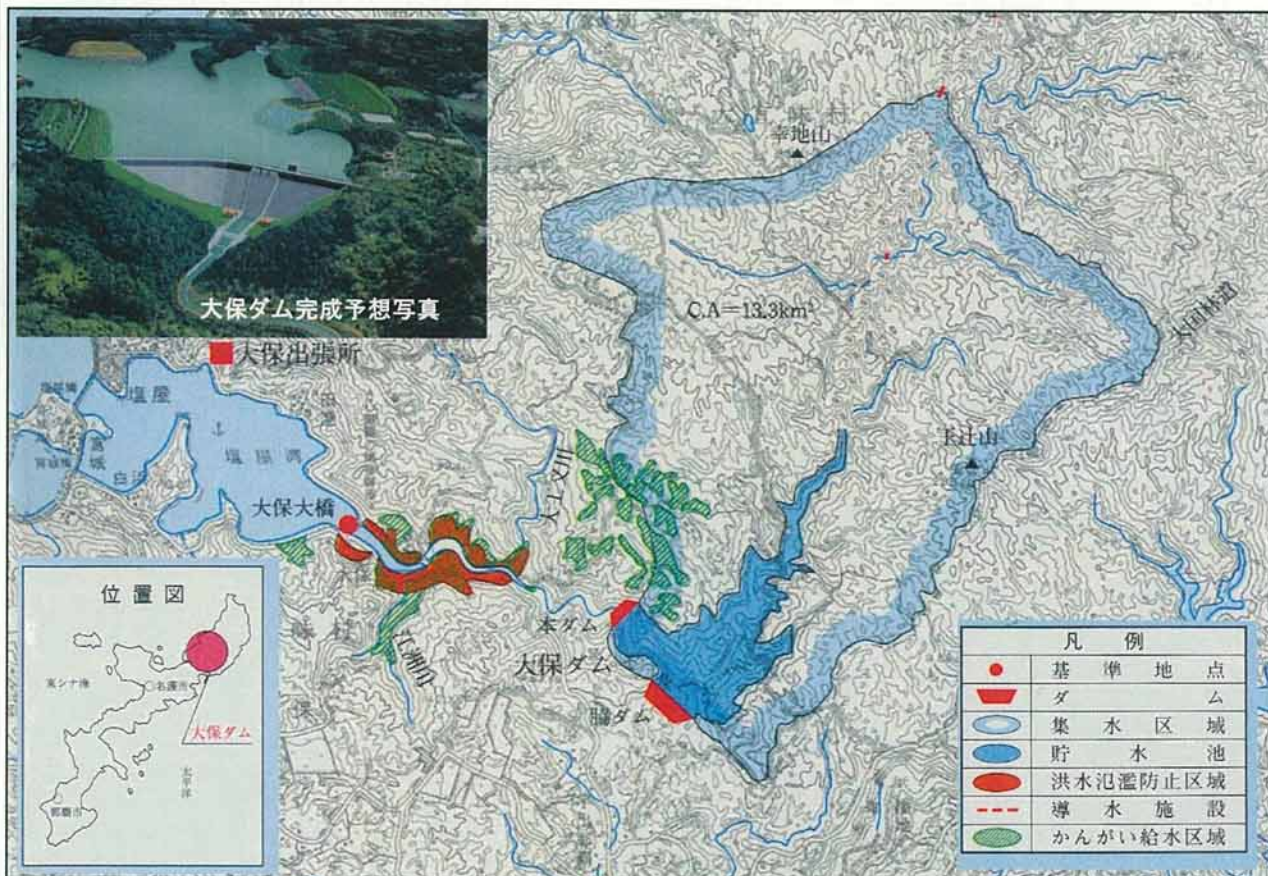
事業着手年度
平成2年度（建設事業）

完成予定年度
平成21年度（大保ダム）

平成16年度事業費
7,577百万円

※沖縄北西部河川総合開発事業

概要図



2. 平成16年度の整備内容

本ダムについては基礎掘削、脇ダムについては基礎掘削及び盛立てを継続して行います。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】

那覇第2地方合同庁舎の整備促進
～ 平成16年度 2号館の実施設計 ～

1. 事業概要

那覇市内に散在する国の機関が入居する施設を集約・合同化することにより、公務能率、行政サービスの向上及び防災機能の確保等を図ります。また、防災拠点となっている官庁施設の耐震化を推進し、災害対策活動が行えるよう確保します。

庁舎を3棟分割方式での整備としており、既に1号館は、平成15年6月に完成し、業務を遂行しています。

平成16年度においては、2号館の実施設計を進め、平成17年度の着工を目指します。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度
平成17年度以降

完成予定年度
平成20年度以降

平成16年度事業費

概要図（イメージ図）



2. 平成16年度の整備内容

利用者への行政サービス向上を目指し、平成15年度に完成した1号館に引き続き、2号館の整備促進を図るため、実施設計に着手します。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり】

比謝川広域基幹河川改修事業
～近年大きな被害を受けた地域における緊急対策～

1. 事業概要

比謝川、特にコザ十字路付近では、以前から浸水被害が多く、近年は毎年のように集中豪雨や台風による浸水被害があります。

緊急対策として、住吉地区の河川の狭隘区間を掘削し、平成17年度までに当該地区の河道を概成させ、平成14年6月の集中豪雨と同規模の浸水被害(床上浸水被害42戸)を解消します。

また、河川整備と都市緑地を一体として整備することにより、浸水被害の解消とあわせて、水と緑の潤いのある空間を創出します。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分(直轄・補助)
補助

事業着手年度
昭和54年度

完成予定年度
平成20年代中頃

平成16年度事業費
800百万円

概要図



位置図



改修前の比謝川



整備イメージ



出水時(H14.6.15)

2. 平成16年度の整備内容

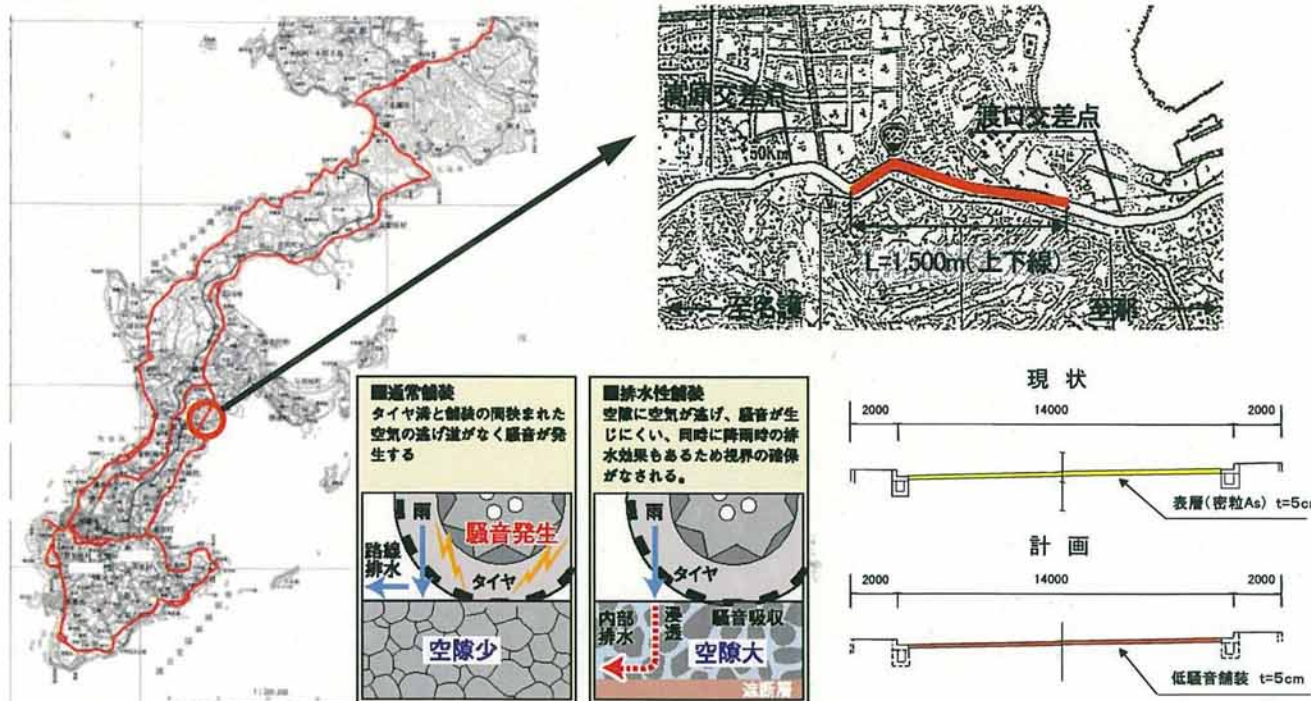
平成16年度は護岸工L=100mの施工、国道330号にかかるボックスカルバートの改修と用地買収を実施します。

○【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出】

「低騒音舗装」による沿道環境改善
～ 夜間騒音の低減を目指して ～
代表箇所：一般国道329号沖縄市与儀

1. 事業概要 一般国道329号は沖縄本島の東部を南北に縦断する重要な幹線道路であり、交通騒音も各所で環境基準を超えるなど沿道環境の早期改善が望まれる路線です。特に当該箇所は、交通量が22,400台/日と非常に多いため、夜間騒音レベルが68デシベル(夜)で基準値の65デシベル(夜)を超過していることから、夜間騒音の低減を行う必要があります。このため当該区間において低騒音舗装を行います。	完成・新規・継続の区分 新規
	事業区分(直轄・補助) 直轄
	事業着手年度 平成16年度
	完成予定年度 平成16年度
	平成16年度事業費 1,321百万円 注)沿道環境改善事業の低騒音に関わる全体事業費です

概要図



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度に当該区間において低騒音舗装を実施し、沿道環境の良好な生活環境を改善するとともに、道路を利用する歩行者やドライバーに快適な道路空間を提供します。
※低騒音舗装は通常舗装に比べ舗装断面に隙間が多く存在するため、車両のタイヤ音を吸収することができ、交通騒音の低減が期待できます。

○【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

那覇第1地方合同庁舎と石垣港湾合同庁舎のグリーン化への促進
～ 地球にやさしい官庁施設をめざして ～

1. 事業概要 循環型経済社会の構築・地球環境問題への取り組みとして、環境負荷低減技術を活用した庁舎（グリーン庁舎）整備促進を図ります。 その一環であるクリーンなエネルギー源を活用した太陽光を電気に変える太陽光発電設備を設けます（那覇第1地方合同庁舎）。また、空調や照明の制御を図り（石垣港湾合同庁舎）、負荷の抑制やエネルギー資源の有効利用等により運用段階の省エネ・省資源に努めます。	完成・新規・継続の区分
	新規
	事業区分（直轄・補助）
	直轄
	事業着手年度
	平成16年度
	完成予定年度
	平成16年度
	平成16年度事業費
	約97百万円

概要図（那覇第1地方合同庁舎）



▲ 案内図



◀ 太陽光発電設備



庁舎全景 ▶

2. 平成16年度の整備内容

環境保全の模範となる環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）の整備を推進します。

○【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出】

那覇港（新港ふ頭地区）廃棄物海面処分場整備事業
～ 平成16年度新規着工 ～

1. 事業概要

那覇港における港湾整備により発生する浚渫土砂を受け入れるとともに、逼迫する廃棄物処理問題に対応するため、那覇港新港ふ頭地区において廃棄物海面処分場を整備し平成16年度から新規に着手します。これにより、確実な港湾整備を図ることができるようになるとともに、埋立により造成された用地を港湾関連用地として有効活用することとしています。

完成・新規・継続の区分
新規

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成16年度

完成予定年度
平成18年度

平成16年度事業費
1,720(516)百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度は、設計、外周及び内護岸の床堀、地盤改良、護岸工を行います。

○【 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出 】

中城湾南部流域下水道事業

1. 事業概要 中城湾南部地域は日本では沖縄県のみ生息するトカゲハゼの最大生息地・佐敷干潟があり、湾内の水環境保全が強く望まれています。中城湾南部流域下水道（西原処理区）は近年人口が増加している中城湾南部4町村の要望を受け事業着手しました。平成14年4月に西原浄化センターが供用を開始し、現在西原町、与那原町、中城村が接続しています。 平成16年度には佐敷中継ポンプ場が供用開始する予定で、当該流域において唯一未供用である佐敷町の下水受入れが可能になります。中城湾南部流域の自然保護と住民の生活環境の向上を計るため、今後も幹線・処理場整備を推進します。	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 平成8年度
	完成予定年度 平成27年度
	平成16年度事業費 1,931百万円

概要図



西原浄化センター



平成16年度供用予定の佐敷中継ポンプ場（完成予定図）

2. 平成16年度の整備内容

下水道普及に向けた幹線整備や最初沈殿池などの下水処理施設整備を行います。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

一般県道 古宇利屋我地線（古宇利大橋）の整備促進
～ 平成16年度完成供用 ～

1. 事業概要

一般県道古宇利屋我地線は、今帰仁村字古宇利を起点として、名護市字運天原に結節し、屋我地・今帰仁間の効率的な連携を図り、生活・産業交通の利便性の向上、観光リゾート産業の振興による地域活性化を図ることを目的としています。

平成15年度までに、下部工は全基数完成しており、上部工及び取付道路も一部施工を完了しています。

完成・新規・継続の区分
完成

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成5年度

完成予定年度
平成16年度

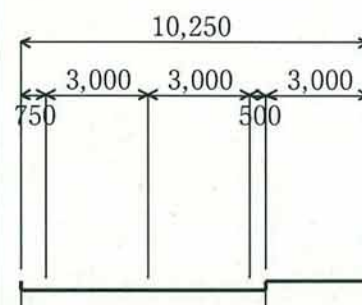
平成16年度事業費
1,471百万円



位置図



標準断面図（橋梁部）



2. 平成16年度の整備内容

平成16年度については、橋面工と取付道路の一部を整備し平成17年3月の完成供用に向け整備を進める予定であります。橋梁完成後は古宇利島の離島苦を解消し、地域の産業・経済・文化等の発展に大きく寄与すると期待されています。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

公営住宅等の整備促進（市営繁多川団地）
～平成１６年度完成供用～

１．事業概要 当該団地は、良質な住宅を供給することにより、市民の居住水準の向上を図るとともに、団地内に集会室及びオープンスペース等を設置することにより健全なコミュニティの形成を図ります。 平成１３年に用地を取得し、平成１４年度から建設を行い、平成１６年度完成予定です。 建設戸数は１８０戸であり、うち１８戸は身障者向け住戸の予定です。	新規・継続の区分
	継続
	事業区分（直轄・補助）
	補助
	事業着手年度
	平成１４年度
	完成予定年度
	平成１６年度
	平成１６年度事業費
	１，５８０百万円

概要図



２．平成１６年度の整備内容

前年度に引き続き、団地（１棟、１１・１５階建）の整備を行います。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

公営住宅等の整備促進（県営浜川団地）
～平成16年度新規～

1. 事業概要 県営浜川団地は、糸満市に位置し、昭和49年度に建設されたRC造中層集合住宅9棟、総戸数220戸の団地です。 当該団地は築後約30年を経過し、建築・設備の劣化、防災上の観点から建替を行うものであり、建替計画は2棟220戸で、このうち1棟を第1期工事として平成16年度から着手する予定です。	新規・継続の区分
	新規
	事業区分（直轄・補助）
	補助
	事業着手年度
	平成16年度
	完成予定年度
	平成18年度（1期）
	平成16年度事業費
	39百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

第1期工事（11・12階建）の整備を行います。

○【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり】

石垣港離島ターミナル再開発事業の整備促進
～平成24年度完成予定～

1. 事業概要 石垣港離島ターミナルは西表島、竹富島など周辺離島航路の発着地であり、八重山諸島観光の玄関口であり、180万人（H15）が利用している。しかし、水域・陸域とも狭隘化しているため、利便性・安全性の向上と貨物取扱の効率化、都市再生と連携したみなとまちづくりを促進するため、早期供用が期待されています。平成15年度は波除堤に着手しました。	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 平成15年度
	完成予定年度 平成24年度
	平成16年度事業費 840（756）百万円

概要図



〈 将来 〉

〈 現 況 〉



2. 平成16年度の整備内容

平成15年度に引き続き、波除堤の整備を行い、浮棧橋の整備を行う予定です。

○【特性を活かした安らぎと活力ある地域づくり】

住宅地区改良事業の促進（具志川市安慶名地区）
～住環境整備の促進～

1. 事業概要 具志川市の中心市街地に位置する安慶名地区において、良好な住環境を備えた防災性の高い住宅市街地の形成を図るため、住宅が密集する地区の建物を除却し、従前居住者用賃貸住宅、道路・公園等の総合的な整備を行います。	完成・新規・継続の区分
	継続
	事業区分（直轄・補助）
	補助
	事業着手年度
	平成14年度
	完成予定年度
	平成19年度
	平成16年度事業費
	684百万円

概要図



2. 平成16年度の整備内容

不良住宅買収除却、用地取得及び改良住宅建設等、住環境整備について
H19年度完成・供用に向け、引き続き推進します。